

当社取締役会の実効性に関する分析・自己評価結果

2022年3月25日
株式会社サンセイランディック

当社は、コーポレート・ガバナンス体制の強化推進の一環として、少なくとも年に1回以上、取締役会の実効性を評価することとしております。

2021年度における取締役会の実効性に関する評価につきましては、2022年1月に実施いたしました。

<分析・評価方法>

取締役会の実効性に関する質問票を、すべての取締役および監査役に配布し、全員から回答を得ました。回答は、外部コンサルタントが匿名性を確保して集計するとともに、その内容について分析を行いました。なお、質問票の作成においては、これまでの当社のコーポレート・ガバナンスに関する取り組み・議論を踏まえ、以下を主な評価項目として設定しました。

<評価の主な項目>

1. 取締役会の役割・機能
2. 取締役会の構成・規模
3. 取締役会の運営
4. 監査機関との連携
5. 経営陣とのコミュニケーション
6. 株主・投資家との関係

上記のプロセス・内容で行われた外部コンサルタントによる分析結果が取締役に報告され、これを参考とし、取締役会において、取締役会の実効性に関する分析および自己評価を行いました。

<自己評価結果の概要および今後の対応>

1. 取締役会の特徴・強み
 - ・取締役会の実効性やガバナンスへの意識が高く、外部環境変化を踏まえた高い目線をもってガバナンス向上へ取り組んでいる点
 - ・円滑な議事運営や適切な役員構成を背景に、活発な議論が展開され、特に社外役員の意見を積極的に取り入れるような機会を作るなど、活発な議論の場の醸成に取り組んでいる点。
2. 今後の課題・改善点
 - ・後継者計画に関する議論
経営層の年齢は高くはないものの、現段階で後継者計画に関する具体的な議論を深める必要があると判断したため、今後の課題として整理いたしました。
 - ・企業理念の全社的な周知
中期経営計画において、企業理念（ミッション、ビジョン、ポリシー）の見直しを行いました。

たが、新たな企業理念を全社員へ周知徹底し、当社の目指す方向性を共有することが中長期的な企業価値の向上につながると考え、今後の課題として対応してまいります。

なお、昨年課題とされた中長期的視点に立った経営戦略及びガバナンスに関する議論ならびに、役員トレーニング計画については、引き続き本年も重要な課題のひとつと認識しております。

改善点として挙げられた事項については、当社のあるべきガバナンス体制をふまえ、引き続き課題解決に向けた取り組みを進め、コーポレート・ガバナンス体制の一層の強化に努めてまいります。